

トレンド・キャッチ 戦略ファンド (愛称:クラッシュハンター)

運用報告書(全体版) 第4期

(決算日 2022年12月13日)
(作成対象期間 2022年6月14日～2022年12月13日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式		
信 託 期 間	2020年12月14日～2025年12月12日		
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	当 ファ ン ド	イ、ケイマン籍の外国投資信託 「米国株式イントラデイ・ モメンタム・ファンド（円建 て・クラスA）」の受益証券 ロ、ダイワ・マネーポート フォリオ・マザーファンド の受益証券	
	ダイワ・マネー ポートフォリオ・ マザーファンド	円建ての債券	
組 入 制 限	当 フ ァ ン ド の 投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マ ザ ー フ ァ ン ド の 株 式 組 入 上 限 比 率	純資産総額の10% 以下	
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 （評価益を含みます。）等とし、原則として、信 託財産の成長に資することを目的に、基準価額の 水準等を勘案して分配金額を決定します。ただ し、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわ ないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株価指数先物取引の売買により信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

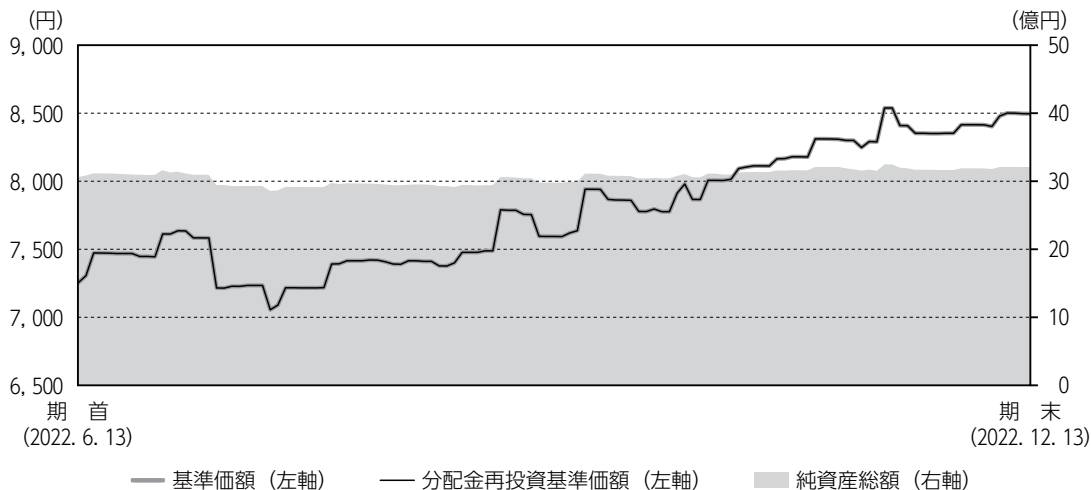
決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 込 配 金	期 騰 落 中 率			
	円	円	%	%	%	百万円
1 期末 (2021年 6 月14日)	9,195	0	△ 8.1	—	99.3	10,014
2 期末 (2021年12月13日)	7,969	0	△ 13.3	—	98.3	6,044
3 期末 (2022年 6 月13日)	7,254	0	△ 9.0	—	99.5	3,060
4 期末 (2022年12月13日)	8,496	0	17.1	—	99.5	3,207

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期 首：7,254円

期 末：8,496円（分配金 0 円）

騰落率：17.1%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

モメンタム・ファンドの受益証券へ投資し、トレンド・キャッチ戦略に基づく米国の株価指数先物取引の売買により収益の獲得をめざした結果、当作成期は、日中に発生した

トレンドが引けにかけても反転することなく継続する局面が多かったため、日中の株価トレンドからリターンを獲得する当戦略が奏功し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」および「ポートフォリオについて」をご参照ください。

※モメンタム・ファンド：米国株式イントラデイ・モメンタム・ファンド（円建て・クラスA）

トレンド・キャッチ戦略ファンド

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率
		騰 落 率		
(期 首) 2022年 6 月13日	円 7,254	% —	% —	% 99.5
6 月末	7,636	5.3	—	98.9
7 月末	7,391	1.9	—	99.1
8 月末	7,790	7.4	—	100.0
9 月末	7,796	7.5	—	100.1
10月末	8,178	12.7	—	100.1
11月末	8,415	16.0	—	100.4
(期 末) 2022年12月13日	8,496	17.1	—	99.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 6. 14 ~ 2022. 12. 13)

■米国株式市況

米国株式市場は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）が利上げ幅拡大を決定したことなどから上昇し、インフレ率がピークアウトするとの期待感などもあり、2022年8月中旬にかけて上昇が続きました。10月半ばにかけては、F R B議長がインフレ抑制姿勢を強調したこと、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、下落しました。その後は、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感され、当作成期末にかけて株価は反発しました。

■国内短期金融市況

日銀のマイナス金利政策の影響により、短期の国債利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、ケイマン籍の外国投資信託「モメンタム・ファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

■モメンタム・ファンド

円建て短期公社債等へ投資を行うとともに、トレンド・キャッチ戦略に基づく米国の株価指数先物取引の売買により収益の獲得をめざします。

トレンド・キャッチ戦略では、米国株式市場の取引時間内におけるS & P 500株価指数先物価格のトレンドを捉えることをめざします。S & P 500株価指数先物価格が日中に前日比で一定率以上上昇した場合には株価指数先物取引を買建て、一定率以上下落した場合には株価指数先物取引を売建てます。株価指数先物取引はすべて当該取引日の取引終了までに反対売買を行って損益を確定します。株価指数先物取引の買建または売建のポジション総額は、見込み純資産総額の3倍程度を上限とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2022. 6. 14 ~ 2022. 12. 13)

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、モメンタム・ファンドの受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

■モメンタム・ファンド

円建て短期公社債等へ投資を行うとともに、トレンド・キャッチ戦略に基づく米国の株価指数先物取引の売買により収益の獲得をめざしました。

トレンド・キャッチ戦略では、米国株式市場の取引時間内における S & P 500 株価指数先物価格のトレンドを捉えることをめざしました。S & P 500 株価指数先物価格が日中に前日比で一定率以上上昇した場合には株価指数先物取引を買建て、一定率以上下落した場合には株価指数先物取引を売建てました。株価指数先物取引はすべて当該取引日の取引終了までに反対売買を行って損益を確定しました。

当作成期においては、日中に発生したトレンドが引けにかけても反転することなく継続する局面が多くみられ、トレンド・キャッチ戦略にとって追い風の環境となりました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当期	
	2022年6月14日 ～2022年12月13日	
当期分配金（税込み） (円)		—
対基準価額比率 (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		—

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、モメンタム・ファンドの受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

■モメンタム・ファンド

円建て短期公社債等へ投資を行うとともに、トレンド・キャッチ戦略に基づく米国の株価指数先物取引の売買により収益の獲得をめざします。

トレンド・キャッチ戦略では、米国株式市場の取引時間内における S & P 500 株価指数先物価格のトレンドを捉えることをめざします。S & P 500 株価指数先物価格が日中に前日比で一定率以上上昇した場合には株価指数先物取引を買建て、一定率以上下落した場合には株価指数先物取引を売建てます。株価指数先物取引はすべて当該取引日の取引終了までに反対売買を行って損益を確定します。株価指数先物取引の買建または売建のポジション総額は、見込み純資産総額の 3 倍程度を上限とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 6. 14～2022. 12. 13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	48円	0.620%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7,790円です。
(投 信 会 社)	(15)	(0.193)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.414)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	49	0.624	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

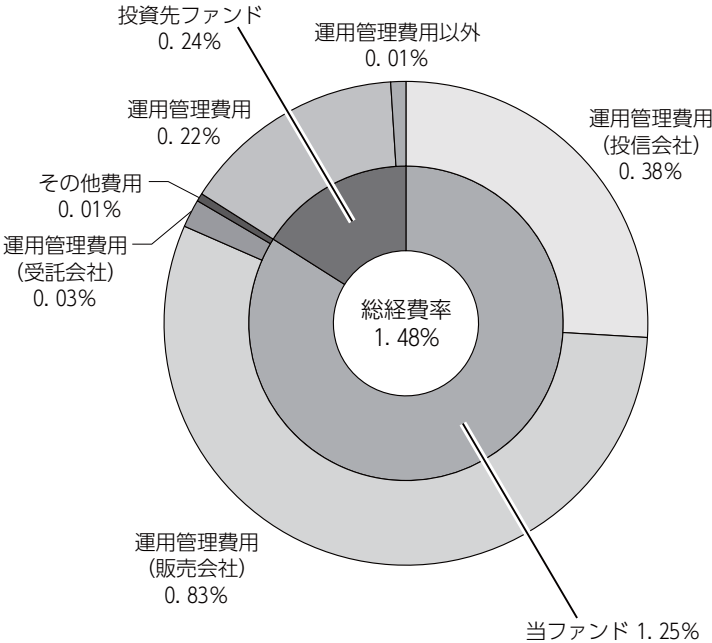
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.48%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.48%
①当ファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.22%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注 1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
(注 2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注 3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
(注 4) 各比率は、年率換算した値です。
(注 5) ①の費用は、1 万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注 6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
(注 7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注 8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2022年6月14日から2022年12月13日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	—	—	46.3281142	359,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2022年6月14日から2022年12月13日まで)

当 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千□	千円	円		千□	千円	円
				RED ARC GLOBAL INVESTMENTS TRUST US EQUITY INTRADAY MOMENTUM FUND JPY CLASS A（ケイマン諸島）	46.3281142	359,000	7,749

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） RED ARC GLOBAL INVESTMENTS TRUST US EQUITY INTRADAY MOMENTUM FUND JPY CLASS A	372.2031452	3,192,014	99.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・マネーポート フォリオ・マザーファンド	9	9	9

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年12月13日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	3,192,014	98.9
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	35,968	1.1
投資信託財産総額	3,227,992	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月13日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	3, 227, 992, 747円
コール・ローン等	35, 968, 581
投資信託受益証券（評価額）	3, 192, 014, 173
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（評価額）	9, 993
(B)負債	20, 003, 574
未払解約金	854, 958
未払信託報酬	19, 021, 904
その他未払費用	126, 712
(C)純資産総額（A－B）	3, 207, 989, 173
元本	3, 776, 030, 559
次期繰越損益金	△ 568, 041, 386
(D)受益権総口数	3, 776, 030, 559口
1万口当り基準価額（C／D）	8, 496円

* 期首における元本額は4, 219, 655, 289円、当作成期間中における追加設定元本額は8, 644, 753円、同解約元本額は452, 269, 483円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は8, 496円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は568, 041, 386円です。

■損益の状況

当期 自2022年 6 月14日 至2022年12月13日

項 目	当 期
(A)配当等収益	△ 3, 281円
受取利息	120
支払利息	△ 3, 401
(B)有価証券売買損益	487, 444, 303
売買益	506, 303, 800
売買損	△ 18, 859, 497
(C)信託報酬等	△ 19, 148, 616
(D)当期損益金（A＋B＋C）	468, 292, 406
(E)前期繰越損益金	△ 944, 039, 539
(F)追加信託差損益金	△ 92, 294, 253
(配当等相当額)	(△ 30, 171)
(売買損益相当額)	(△ 92, 264, 082)
(G)合計（D＋E＋F）	△ 568, 041, 386
次期繰越損益金（G）	△ 568, 041, 386
追加信託差損益金	△ 92, 294, 253
(配当等相当額)	(△ 30, 171)
(売買損益相当額)	(△ 92, 264, 082)
繰越損益金	△ 475, 747, 133

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	0
(h) 受益権総口数	3, 776, 030, 559口

モメンタム・ファンド

当ファンド（トレンド・キャッチ戦略ファンド）はケイマン籍の外国投資信託「米国株式イントラデイ・モメンタム・ファンド（円建て・クラス A）」の受益証券を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

（日本円建て）

貸借対照表
2022年 6 月30日

（円）

資産

投資

簿価

2, 881, 185, 240

評価額

2, 880, 757, 600

スワップ取引の評価額

153, 569, 540

銀行預金

69, 372, 355

資産合計

3, 103, 699, 495

負債

未払管理会社報酬及び未払保管会社報酬

310, 027

未払運用会社報酬

180, 748

未払受託会社報酬

76, 823

負債合計

567, 598

純資産

3, 103, 131, 897

発行済み口数

404, 880. 3628

1 口当り純資産

7, 664

損益計算書及び純資産変動計算書
自2021年7月1日 至2022年6月30日

(円)

費用

管理会社報酬及び保管会社報酬	6,678,912
運用会社報酬	3,893,887
保護預り手数料	944,127
受託会社報酬	637,593
支払利息	453,092
売買費用	343,020
費用合計	12,950,631

投資純損失

(12,950,631)

実現益／（損）の内訳

為替差損	(1,886)
証券投資に係る損失	(6,632,316)
スワップ取引に係る損失	(1,570,261,150)
投資純損失及び実現損	(1,589,845,983)

評価益／（損）の内訳

スワップ取引に係る評価益	50,602,250
証券投資に係る評価益	684,597
運用による純資産の純減	(1,538,559,136)

資本の移動

設定	530,800,000
解約	(5,775,100,000)
資本の純変動	(5,244,300,000)

期初における純資産

9,885,991,033

期末における純資産

3,103,131,897

投資明細表
2022年 6 月30日

元本	銘柄	通貨	簿価 (円)	評価額 (円)	純資産 に占める 割合 (%)
債券					
1,000,000,000	JAPAN T-BILL 0 12SEP22 SER 1086	JPY	1,000,249,000	1,000,250,000	32.23
1,880,000,000	JAPAN T-BILL 0 26SEP22 SER 1090	JPY	1,880,936,240	1,880,507,600	60.60
債券合計			2,881,185,240	2,880,757,600	92.83
投資合計			2,881,185,240	2,880,757,600	92.83

スワップ取引 (2022年 6 月30日時点)

契約口数	指数スワップ	通貨	満期日	参照指数	評価額 (円)
6,729,603.00	S46 Index Swap	JPY	07/12/2022	CIEQCU13	153,569,540.00

<補足情報>

当ファンド（トレンド・キャッチ戦略ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2022年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2022年12月13日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄

2022年6月14日～2022年12月13日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2022年12月13日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第14期（決算日 2022年12月9日）

（作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日）

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

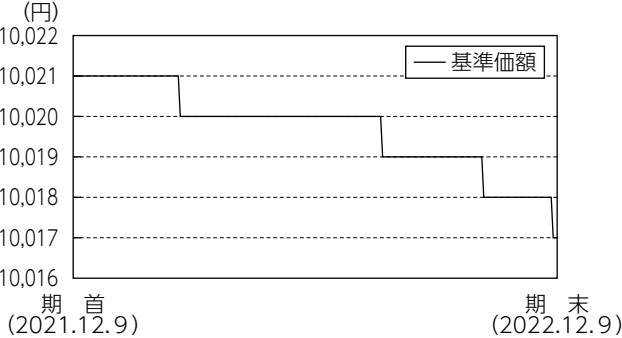
運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2021年12月9日	円	%	%
12月末	10,021	0.0	—
2022年1月末	10,021	0.0	—
2月末	10,021	0.0	—
3月末	10,020	△0.0	—
4月末	10,020	△0.0	—
5月末	10,020	△0.0	—
6月末	10,020	△0.0	—
7月末	10,020	△0.0	—
8月末	10,019	△0.0	—
9月末	10,019	△0.0	—
10月末	10,018	△0.0	—
11月末	10,018	△0.0	—
(期末)2022年12月9日	10,017	△0.0	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,021円 期末：10,017円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	44,934,654	100.0
投資信託財産総額	44,934,654	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	44,934,654,863円
コール・ローン等	44,934,654,863
(B) 負債	1,205,058
未払解約金	1,205,058
(C) 純資産総額(A－B)	44,933,449,805
元本	44,855,160,815
次期繰越損益金	78,288,990
(D) 受益権総口数	44,855,160,815口
1万口当り基準価額(C／D)	10,017円

* 期首における元本額は94,938,109,576円、当作成期間中における追加設定元本額は94,531,696,979円、同解約元本額は144,614,645,740円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ米ドル・ブルファンド (適格機関投資家専用)	3,974,859,681円
ダイワ米ドル・ベアファンド (適格機関投資家専用)	9,984,542,130円
ダイワ・マネーポートフォリオ (F O F s用) (適格機関投資家専用)	1,089,639円
ダイワJリートベア・ファンド (適格機関投資家専用)	2,083,616,103円
米国国債プラス日本株式ファンド2021-01 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	1,518,511円
米国国債プラス日本株式ファンド2021-07 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	9,980,330円
ダイワ/パリュウ・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス	9,976円
通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
オール・マーケット・インカム戦略 (資産成長重視コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定額分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定率分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (予想分配金提示型コース)	9,963円
NYダウ・トリプル・レバレッジ	1,486,750,161円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型)	998円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型)	998円
FANG+ブルベア・マネーポートフォリオ	992,420円
ポーレン米国グロース株式ファンド (資産成長型)	998円
ポーレン米国グロース株式ファンド (予想分配金提示型)	998円
トレンド・キャッチ戦略ファンド	9,977円
AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド (適格機関投資家専用)	8,364,886,518円
ダイワJGBベア・ファンド2 (適格機関投資家専用)	18,942,942,107円
ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド	2,417,017円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン ド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン ド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン ド (通貨選択型) アジア通貨・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券α (毎月分配型)	9,949円
ダイワ米国債7-10年ダウファンド・マネーポートフォリオ - U S Tライアングル -	997,374円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド - 予想分配金提示型 -	173,802円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,017円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 16,492,067円
支払利息	△ 16,492,067
(B) 当期損益金(A)	△ 16,492,067
(C) 前期繰越損益金	201,304,649
(D) 解約差損益金	△293,300,613
(E) 追加信託差損益金	186,777,021
(F) 合計(B + C + D + E)	78,288,990
次期繰越損益金(F)	78,288,990

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。